

ステレオ ダブルグラフィック イコライザー

GE-900W

取扱説明書

お買いあげいただきましてありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。

トリオ株式会社

TRIO-KENWOOD CORPORATION

TRIO-KENWOOD

このたびは、ケンウッドステレオダブルグラフィックイコライ

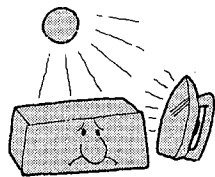
この GE-900W は、ケンウッドが技術の粋を集めて開発した本格的なステレオダブルグラフィックイコライザーです。ケンウッドコンパクトコンポーネントステレオシステム ^{ロキシー} ROXY D9,D7,D5 または HD コンボシリーズと組み合わせると、よりいっそう楽しさが広がります。GE-900W の機能をフルに

ご使用前に…必ずお読みください。

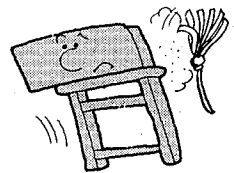
〈この GE-900W は、日本国内専用につくられています。外国では使用することはできません。〉

■セットの置き場所

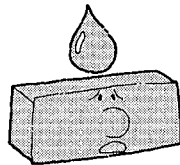
直射日光の当る所、暖房器具など発熱物の近くはさけてください。



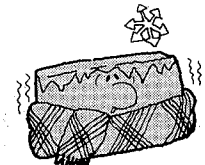
不安定な棚などはさけ、ホコリ、振動の少ない水平な場所にセッティングしてください。



花びん、化粧品など水の入ったものは、セットの上に置かないでください。また、湿気の多い所はさけてください。



極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

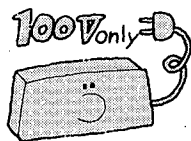


放熱をよくするため、ケース上面の放熱孔をレコード盤やテーブルクロスなどでふさがないでください。また、壁から10cmくらい離してください。

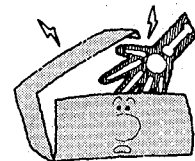


■正しく安全にお使いいただくために

本セットは、交流 100V 専用です。クーラーなど 200V では使えません。



ケースなどはずし、内部にふれることはさけてください。内部に手をふれると感電、故障の原因となります。

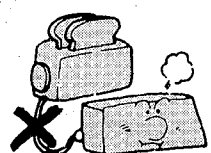


内部には手をふれない

背面の電源コンセントにヘアピン、縫い針などの金属物が入ると故障や感電の原因になります。とくにお子様へのご注意をお願いします。

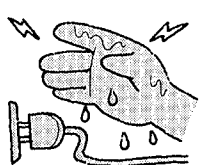


背面の電源コンセントには容量より多い機器を接続しないでください。アイロン、トースターなどは絶対に接続しないでください。



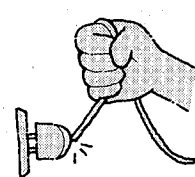
トースターなどはつながない

電源プラグの抜き差しは、ぬれた手でやらないと感電するおそれがありますのでご注意ください。



ぬれた手で扱わない

電源コードを強くひっぱったり、無理に折りまげたり、継ぎ足したりすることは、通電しなくなったり、ショートのおそれがありますのでやめましょう。抜くときは、プラグを持ってください。



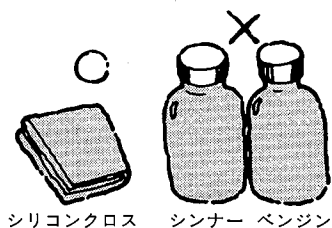
コードをもたない

ザーGE-900Wをお買いあげいただきありがとうございます。

生かすため、本説明書をよくお読みになり、末永くご愛用くださるようお願いいたします。また、お読みになったあとも大切に保存してください。

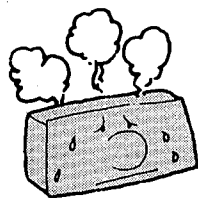
■セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきします。シンナー、ベンジンなどの使用は変色の原因になることがあります。



■万一、本機に異常がおこったら

万一、煙がでている、変な臭いがするなどのときは、電源スイッチをすばやくOFFにして電源コードを抜いてください。そのうえで速かに購入店または最寄りのトリオサービスセンター、営業所へご連絡ください。



目次

ご使用の前に	2
■セットの置き場所	2
■正しく安全にお使いいただくために	2
■セットのお手入れ	3
■万一、本機に異常がおこったら	3
各部の名称とはたらき	4
接続のしかた	6
^{ロキシー} ■ROXY D9,D7,D5との 接続のしかた	6
■HDコンポとの接続のしかた	6
■一般的な機種との接続のしかた	7
操作のしかた	8
ROXY D9,D7,D5またはHDコンポと 組み合わせたとき	8
一般的な機種と組み合わせたとき	10
スペクトラムアナライザーについて	12
音質調整について	13
故障と思われる症状ですが	14
定 格	14

各部の名称とはたらき

1つのボディに2つのステレオグラフィックイコライザーを内蔵。各スイ

イコライザーA操作キー／インジケータ

OFF : イコライザーAを使用しないときに押します。

LINE : イコライザーAの効果のかかった音をききたいときに押します。LINEインジケータが点灯します。

REC-A : イコライザーAの効果のかかった音を、REC-A端子に接続したカセットデッキで録音するときに押します。REC-Aインジケータが点灯します。

ご注意：

グラフィックイコライザーをご使用にならないときは、必ずOFFの状態にしてください。

スペクトラムアナライザーA,Bディスプレイ

スペクトラムアナライザー表示をします。

イコライザーA,Bレベルコントロール

これらのレベルコントロールを上下に動かすことにより、それぞれの表示周波数を左右チャンネル同時に可変することができます。

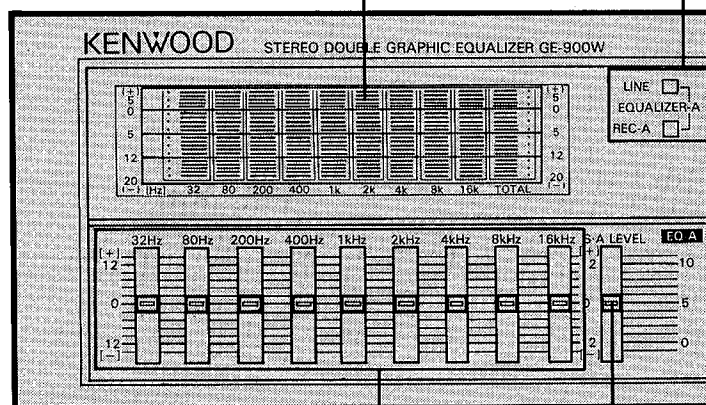
電源スイッチ (POWER)

ONで電源が入り、OFFで切れます。

スペクトラムアナライザー切換えスイッチ (S・A DISPLAY)

□ SEPARATE : スイッチがこの位置のとき、スペクトラムアナライザーAディスプレイは、イコライザーA側の ㊦チャンネルと ㊧チャンネルがプラスされたスペクトラムアナライザー表示、スペクトラムアナライザーBディスプレイは、イコライザーB側の ㊦チャンネルと ㊧チャンネルがプラスされたスペクトラムアナライザー表示になります。

▢ L/R : スイッチがこの位置のとき、スペクトラムアナライザーAディスプレイは、イコライザーBの ㊦チャンネルのスペクトラムアナライザー表示、スペクトラムアナライザーBディスプレイは、イコライザーAの ㊦チャンネルのスペクトラムアナライザー表示になります。



ツチのはたらきを覚えてください。

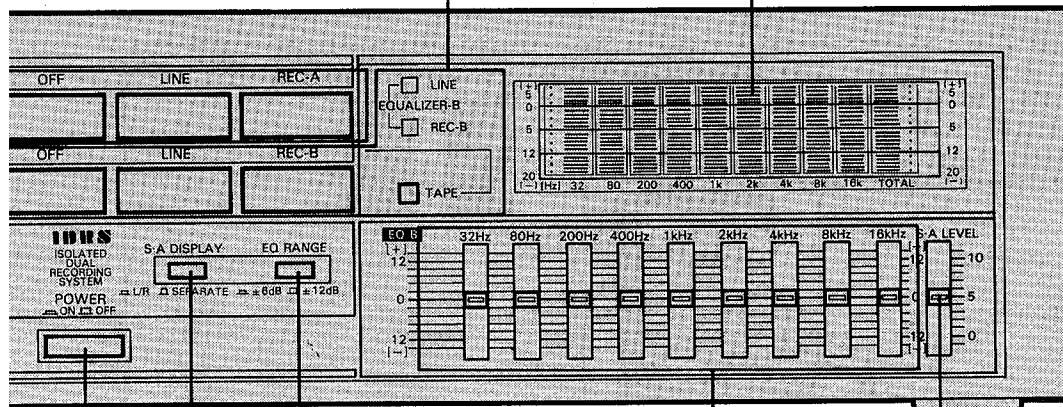
イコライザーB操作キー／インジケータ

- OFF : イコライザーBを使用しないときに押します。
- LINE : イコライザーBの効果のかかった音をききたいときに押します。LINEインジケータが点灯します。

- REC-B : イコライザーBの効果のかかった音をREC-B端子に接続したカセットデッキで録音するときに押します。
REC-Bインジケータが点灯します。
- TAPE : テープ端子に接続したカセットデッキの音にイコライザーBの効果をかけてきくときに押します。

ご注意 :

グラフィックイコライザーをご使用にならないときは、必ず OFF の状態にしてください。



イコライザーA,Bスペクトラムアナライザレベルコントロール(S·A LEVEL)

スペクトラムアナライザの表示レベルを調節するコントロールです。上に動かすと、表示レベルが大きくなり、下に動かすと、小さくなります。

イコライザーレンジ切換えスイッチ(EQ RANGE)

このスイッチでイコライザーの最大可変レンジを、 $\pm 12\text{dB}$ と $\pm 6\text{dB}$ に切換えます。(イコライザー A,Bの両方が同時に切り換わります)

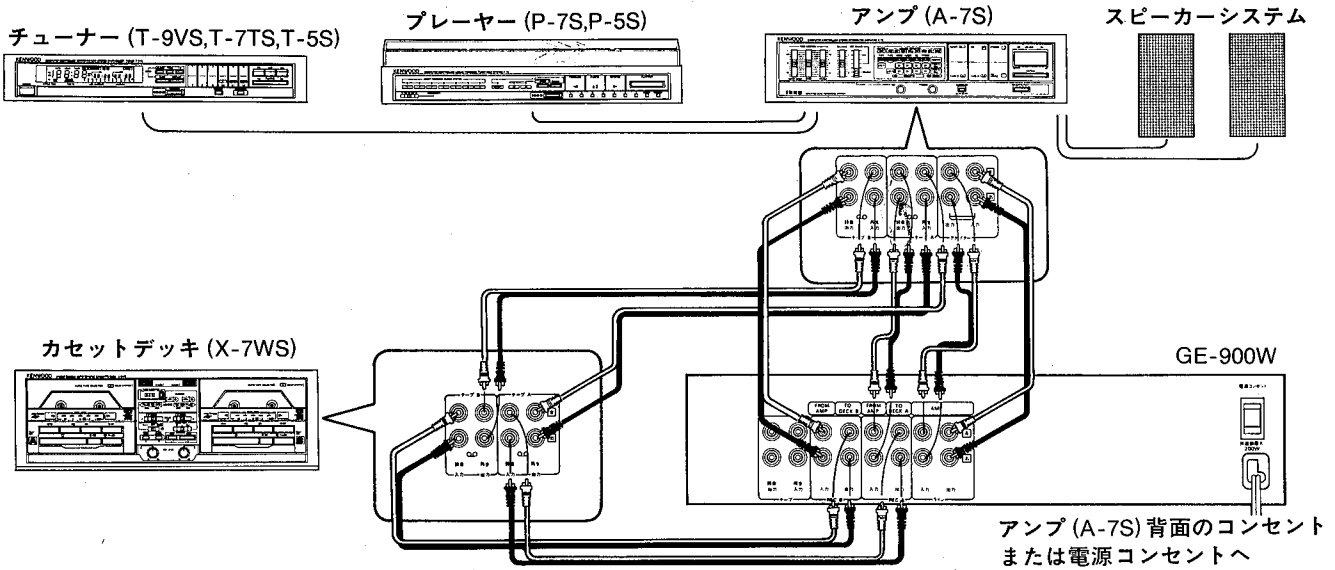
$\pm 12\text{dB}$: リスニングルームやスピーカーなど比較的大きな補正を行うとき。

$\pm 6\text{dB}$: カセットデッキの周波数補正や、カートリッジの高域補正など、比較的小さな補正を行うとき。

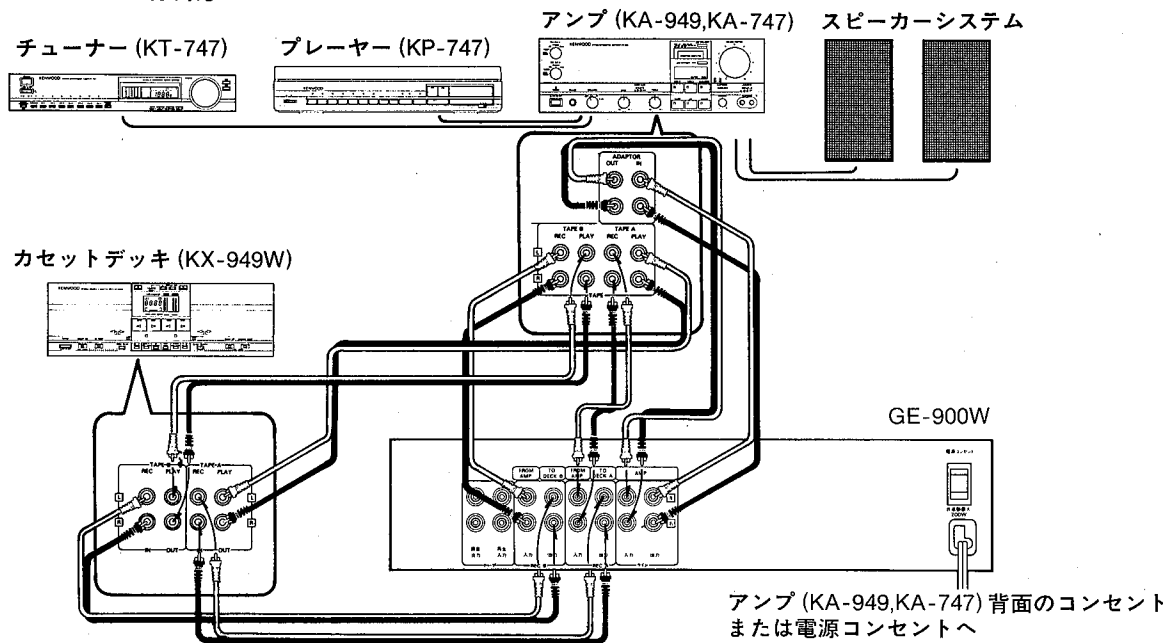
接続のしかた (接続が完了するまで、電源は切っておいてください。)

ロキシー

■ROXY D9,D7,D5との接続のしかた



■HDコンポとの接続のしかた



●アンプ (KA-949, KA-747) との接続

GE-900W と (KA-949, KA-747) の端子を、次のように両ピンコードで右図、左図正しく接続してください。

GE-900W	(KA-949, KA-747)
ライン出力端子	と アダプター入力端子
ライン入力端子	と アダプター出力端子
REC A 入力端子	と テープA 録音出力端子
REC B 入力端子	と テープB 録音出力端子

●カセットデッキ (KX-949W) との接続

GE-900W と KX-949W の端子を、次のように両ピンコードで右図、左図正しく接続してください。

GE-900W	KX-949W
REC A 出力端子	と テープA 入力 (録音) 端子
REC B 出力端子	と テープB 入力 (録音) 端子

●アンプ (KA-949, KA-747) とカセットデッキ (KX-949W) の接続

(KA-949, KA-747) と KX-949 の端子を、次のように両ピンコードで、右図、左図正しく接続してください。

(KA-949, KA-747)	KX-949W
テープA 再生入力端子	と テープA 出力 (再生) 端子
テープB 再生入力端子	と テープB 出力 (再生) 端子

●アンプ(A-7S)との接続

GE-900WとA-7Sの端子を、次のように両ピンコードで右図、左図正しく接続してください。

GE-900W	A-7S
ライン出力端子	と アダプター入力端子
ライン入力端子	と アダプター出力端子
REC A 入力端子	と テープA 録音出力端子
REC B 入力端子	と テープB 録音出力端子

●アンプ(A-7S)とカセットデッキ(X-7WS)の接続

A-7SとX-7WSの端子を、次のように両ピンコードで、右図、左図正しく接続してください。

A-7S	X-7WS
テープA再生入力端子	と テープA出力(再生)端子
テープB再生入力端子	と テープB出力(再生)端子

●カセットデッキ(X-7WS)との接続

GE-900WとX-7WSの端子を、次のように両ピンコードで右図、左図正しく接続してください。

GE-900W	X-7WS
REC A 出力端子	と テープA入力(録音)端子
REC B 出力端子	と テープB入力(録音)端子

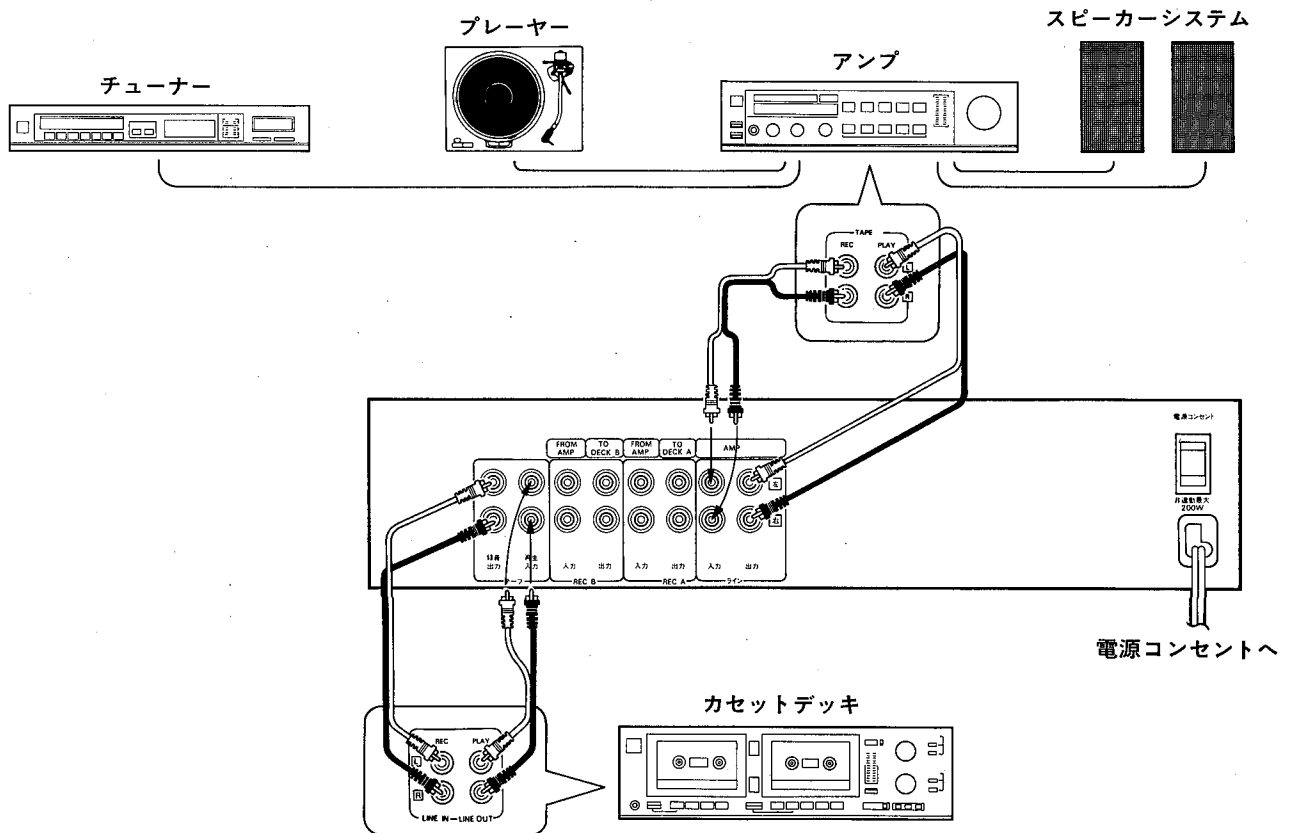
ACアウトレット(非連動最大容量200W)

カセットデッキなどの電源プラグを差し込みます。

接続上のご注意

入出力端子に差し込むピンプラグは、確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音がでなくなったり、雑音を発生することがあります。

■一般的な機種との接続のしかた



●アンプとの接続

GE-900Wとアンプの端子を、次のように両ピンコードで右図、左図正しく接続してください。

GE-900W	アンプ
ライン入力端子	と テープ端子の録音端子
ライン出力端子	と テープ端子の再生端子

●カセットデッキとの接続

GE-900Wとカセットデッキの端子を、次のように両ピンコードで右図、左図正しく接続してください。

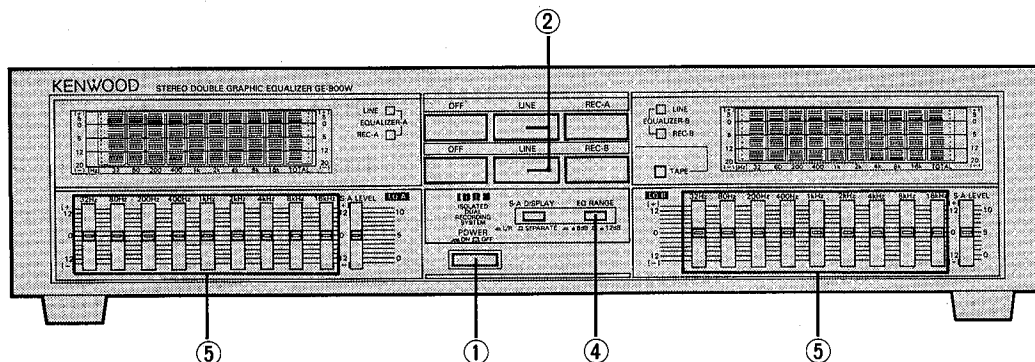
GE-900W	カセットデッキ
テープ再生入力端子	と 出力端子(再生)
テープ録音出力端子	と 入力端子(録音)

操作のしかた

ロキシー

ROXY D9,D7,D5またはHDコンポと組み合わせたとき

■今、おききになる音にイコライザー効果を加えるとき



- ①電源スイッチをONにします。
- ②イコライザー A,B 操作キーのどちらかの LINE キーを押します。
- ③おききになるソースを演奏します。
- ④イコライザーレンジ切換えスイッチをお好みに合わせて切り換えます。
- ⑤②で押した LINE キー側のイコライザーレベルコントロールを動かし、お好みの音質にします。

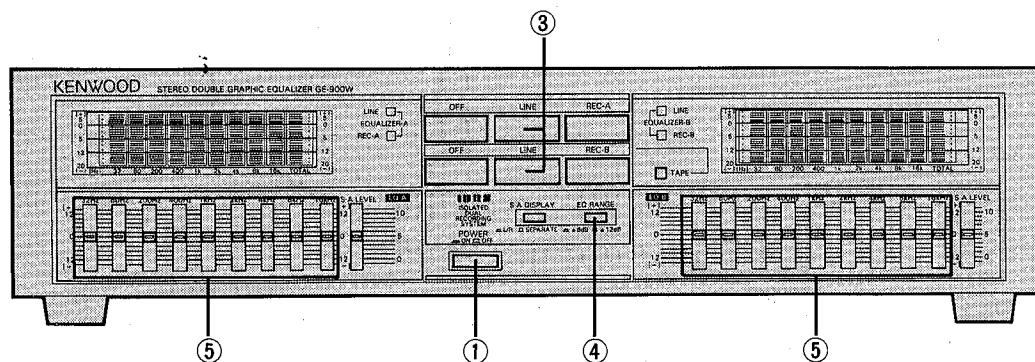
ご注意：

イコライザー A,B 操作キーの両方とも LINE キーを押しますと、ソースにイコライザー A,B 両方のイコライザー効果がかかりますので、どちらかの LINE キーのみ押しご使用ください。

■イコライザー効果のかかった音を録音するとき

ROXY のカセットデッキ (X-7WS), および HD コンポのカセットデッキ (KX-949W) の A デッキには、本機のイコライザー A または B デッキにはイコライザー B がそれぞれ独立して対応しています。

- ① 1つのソースを、イコライザー A またはイコライザー B の効果をかけて、A デッキまたは B デッキ、あるいは A, B 両方のデッキに録音するとき。(ROXY のみ)



- ①電源スイッチをONにします。
- ②ソースを演奏します。
- ③イコライザー A,B 操作キーのどちらかの LINE キーを押します。
- ④イコライザーレンジ切換えスイッチをお好みに合わせて切り換えます。
- ⑤③で押した LINE キー側のイコライザーレベルコントロールを動かし、お好みの音質にします。
- ⑥A デッキまたは B デッキ、あるいは A,B 両方のデッキを録音状態にします。

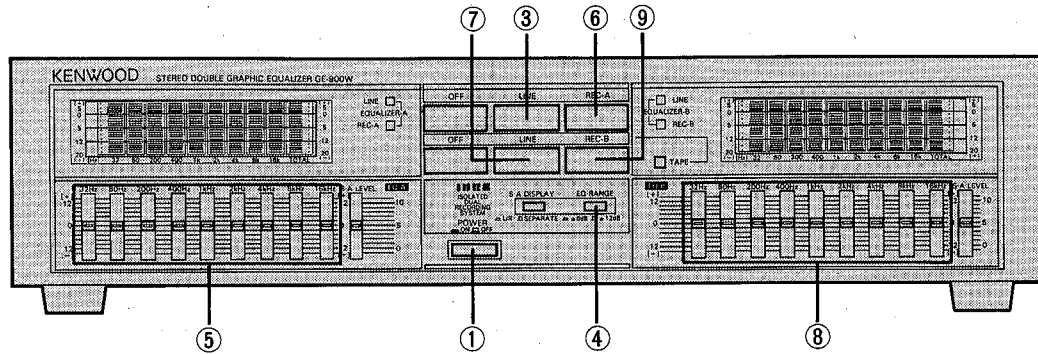
※一つのデッキにのみ録音のときは、録音する音にはイコライザー効果をかけて、スピーカーからの音にはイコラ

イザー効果をかけない使いかたができます。そのさいは、上記の操作⑤のあとで A デッキまたは B デッキに対応する REC-A キーまたは REC-B キーを押してください。このとき録音に使用しない方のイコライザーを LINE にして、イコライザー効果を加えると録音されている音も変化しますのでご注意ください。

ご注意：

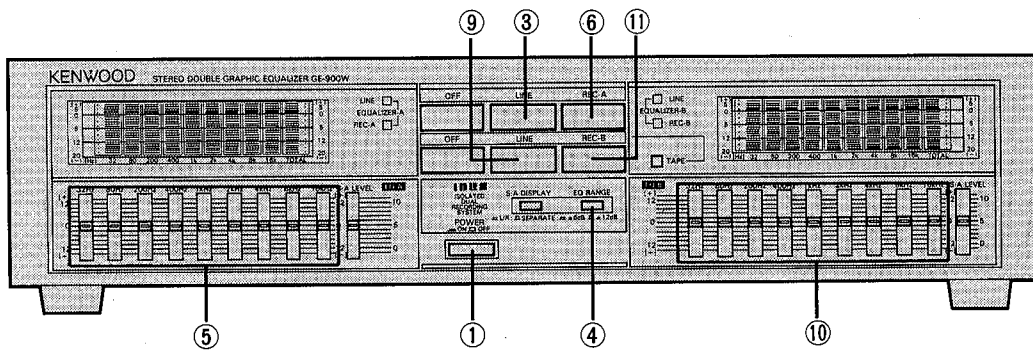
LINE キーを両方とも押すと、両方のイコライザー効果がたされたものが録音されますので、どちらか一方のみの LINE キーを押してご使用ください。

- 2** 1つのソースをイコライザーA, Bでそれぞれ別のイコライザー効果をかけてA, Bデッキに録音するとき (イコライザーAはAデッキに, イコライザーBはBデッキに録音できます)。
ただし, この操作のときにはスピーカーの音にはイコライザー効果はかかりません。



- ①電源スイッチをONにします。
 - ②ソースを演奏します。
 - ③イコライザーA操作キーのLINEキーを押します。
 - ④イコライザーレンジ切換えスイッチをお好みに合わせて切り換えます。
 - ⑤イコライザーAレベルコントロールを動かし, お好みの音質にします。
 - ⑥イコライザーA操作キーのREC-Aキーを押し, LINEからREC-Aに切り換えます。
 - ⑦イコライザーB操作キーのLINEキーを押します。
 - ⑧イコライザーBレベルコントロールを動かし, お好みの音質にします。
 - ⑨イコライザーB操作キーのREC-Bキーを押し, LINEからREC-Bに切り換えます。
 - ⑩A,Bデッキ両方とも録音状態にします。
- ご注意:**
- アンプ(A-7S,KA-747,KA-949)の入力切換えスイッチを, TAPE-AまたはTAPE-Bにすると, AデッキまたはBデッキに録音されている音が, スピーカーからきくことができます。

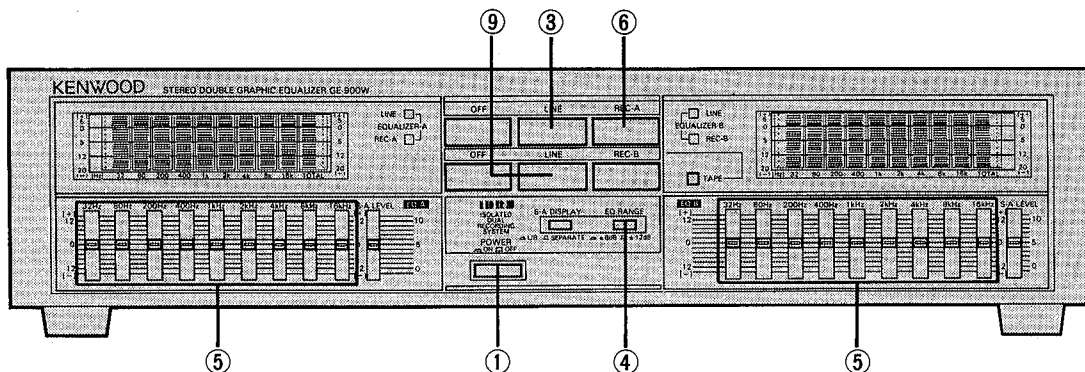
- 3** 2つのソースを, イコライザーAの効果のかかったものをAデッキ, イコライザーBの効果のかかったものをBデッキにそれぞれ録音するとき (IDRS状態でイコライザー効果をかけるとき)。
ただし, この操作のときにはスピーカーの音にはイコライザー効果はかかりません。



- ①電源スイッチをONにします。
 - ②Aデッキに録音するソースを演奏します。
 - ③イコライザーA操作キーのLINEキーを押します。
 - ④イコライザーレンジ切換えスイッチをお好みに合わせて切り換えます。
 - ⑤イコライザーAレベルコントロールを動かし, お好みの音質にします。
 - ⑥イコライザーA操作キーのREC-Aキーを押し, LINEからREC-Aに切り換えます。
 - ⑦Aデッキを録音状態にします。
 - ⑧Bデッキに録音するソースを演奏します。
 - ⑨イコライザーB操作キーのLINEキーを押します。
 - ⑩イコライザーBレベルコントロールを動かし, お好みの音質にします。
 - ⑪イコライザーB操作キーのREC-Bキーを押し, LINEからREC-Bに切り換えます。
 - ⑫Bデッキを録音状態にします。
- ご注意:**
- アンプ(A-7S,KA-747,KA-949)の入力切換えスイッチを, TAPE-AまたはTAPE-Bにすると, AデッキまたはBデッキに録音されている音が, スピーカーからきくことができます。

■イコライザー効果のかかった音を録音しながら、別の音にイコライザー効果をかけてきくとき

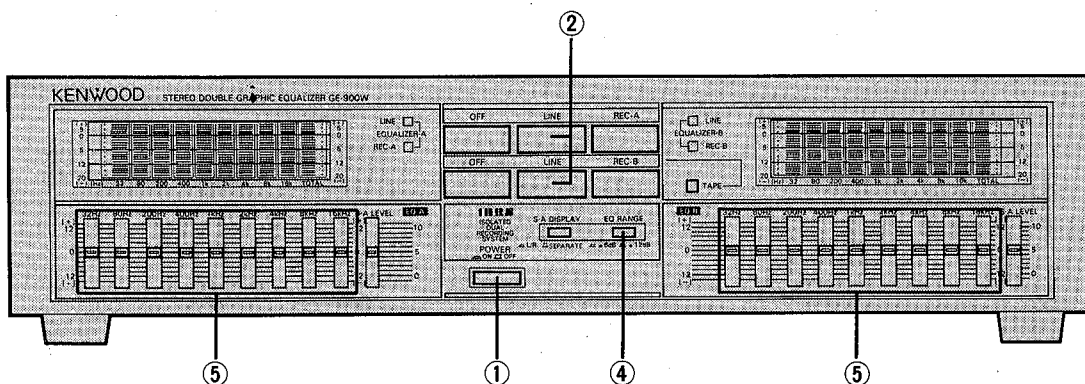
(Aデッキで録音するときの操作方法です。Bデッキで録音するときも同様に操作してください。)



- ①電源スイッチをONにします。
- ②Aデッキに録音するソースを演奏します。
- ③イコライザーA操作キーのLINEキーを押します。
- ④イコライザーレンジ切換えスイッチをお好みに合わせて切り換えます。
- ⑤イコライザーAレベルコントロールを動かし、お好みの音質にします。
- ⑥イコライザーA操作キーのREC-Aキーを押し、LINEからREC-Aに切り換えます。
- ⑦Aデッキを録音状態にします。
- ⑧おききになりたいソースを演奏します。
- ⑨イコライザーB操作キーのLINEキーを押します。
- ⑩イコライザーBレベルコントロールを動かし、お好みの音質にします。

一般的な機種と組み合わせたとき

■アンプに接続したソースにイコライザー効果をかけてきくとき

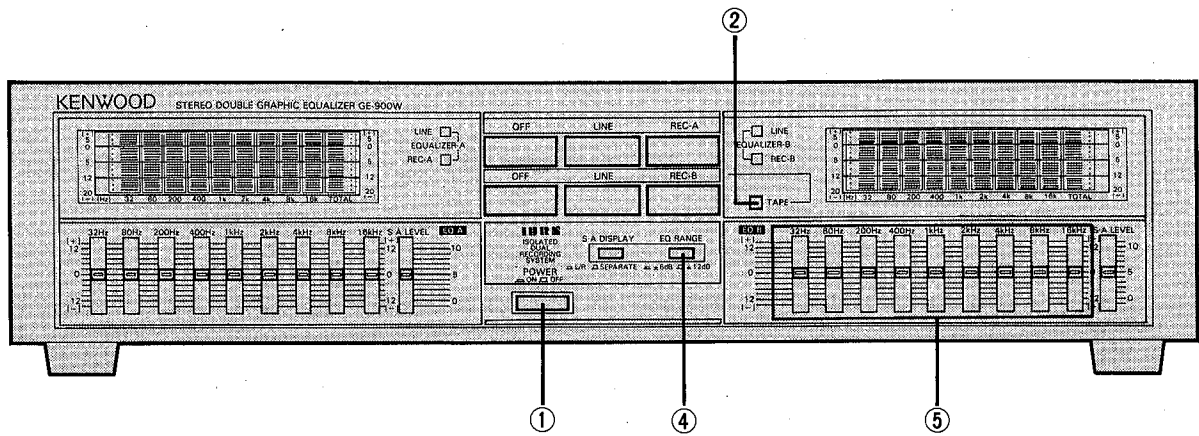


- ①電源スイッチをONにします。
- ②イコライザーA,BのどちらかのLINEキーを押します。
- ③おききになるソースを演奏します。
- ④イコライザーレンジ切換えスイッチを、お好みに合わせて切り換えます。
- ⑤②で押したLINEキー側のイコライザーレベルコントロールを動かし、お好みの音質にします。

ご注意：

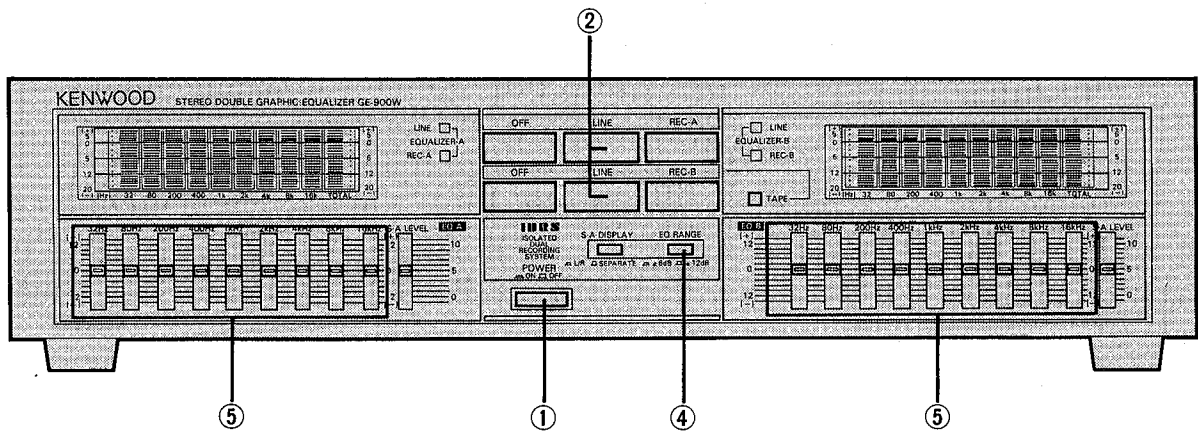
イコライザーA,B操作キーの両方ともLINEキーを押しますと、ソースにイコライザーA,B両方のイコライザー効果がかかりますので、どちらかのLINEキーのみ押しご使用ください。

■本機に接続したカセットデッキの音にイコライザー効果をかけてきくとき



- ①電源スイッチをONにします。
- ②イコライザーB操作キーのTAPESキーを押します。
- ③テープを演奏します。
- ④イコライザーレンジ切換えスイッチを、お好みに合わせて切り換えます。
- ⑤イコライザーBレベルコントロールを動かす、お好みの音質にします。
※イコライザー効果をかけないときは、イコライザーBレベルコントロールを“0”の位置に合わせてください。

■本機に接続したカセットデッキにイコライザー効果のかかった音を録音するとき



- ①電源スイッチをONにします。
 - ②イコライザーA,B操作キーのどちらかのLINEキーを押します。
 - ③アンプに接続したソースを演奏します。
 - ④イコライザーレンジ切換えスイッチをお好みに合わせて切り換えます。
 - ⑤②で押したLINEキー側のイコライザーレベルコントロールを動かす、お好みの音質にします。
 - ⑥カセットデッキを録音ポーズ状態にし、録音レベルを設定します。
 - ⑦カセットデッキを録音状態にします。
- ご注意： _____
- LINEキーを両方とも押すと、両方のイコライザー効果がたされたものが録音されますので、どちらか一方のみのLINEキーを押してご使用ください。
- _____

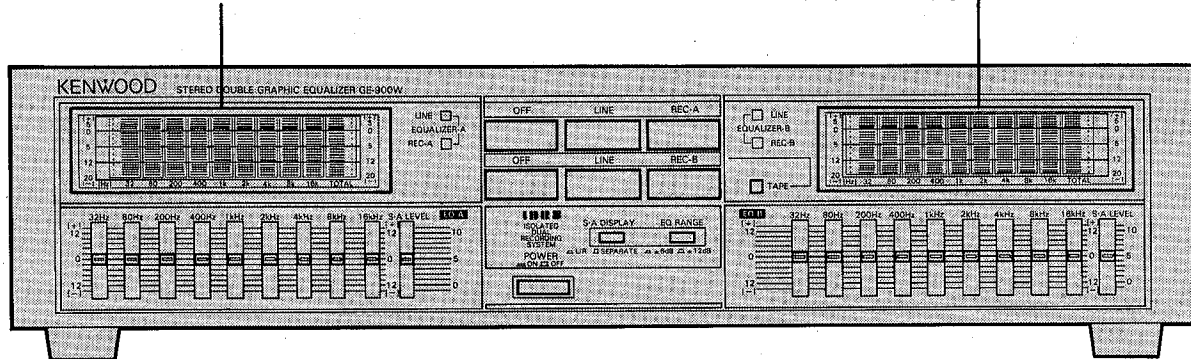
スペクトラムアナライザーについて

本機のスペクトラムアナライザーA,Bディスプレイは、次のような使いかたができます。

1 スペクトラムアナライザー切換えスイッチを“SEPARATE”の位置にします。

イコライザーA操作キーで選ばれたソースの出力が右チャンネルと左チャンネルがプラスされて表示されます。

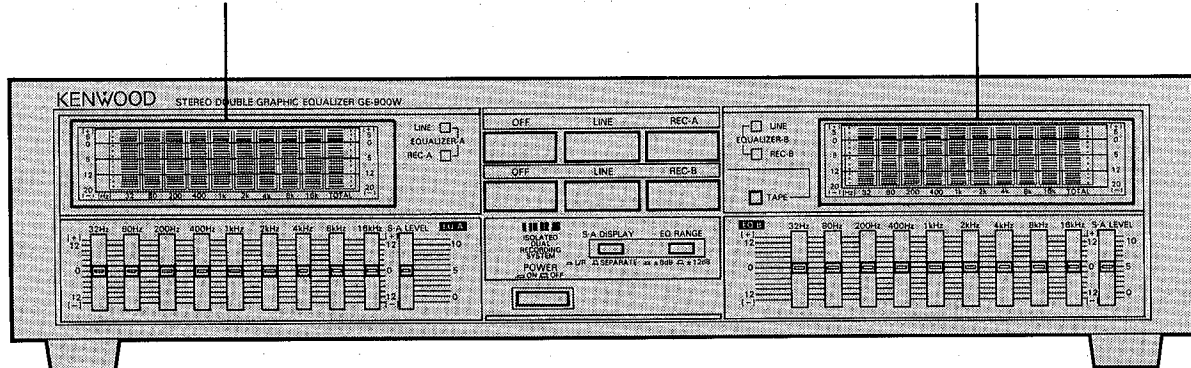
イコライザーB操作キーで選ばれたソースの出力が右チャンネルと左チャンネルがプラスされて表示されます。



2 スペクトラムアナライザー切換えスイッチを“L/R”の位置にします。

イコライザーB操作キーで選ばれたソースの出力の左チャンネルが表示されます。

イコライザーB操作キーで選ばれたソースの出力の右チャンネルが表示されます。



※イコライザーA操作キーで選ばれたソースには、この表示はできません。

ご注意：

ソースがチューナーでステレオ放送を受信しているときは、スペクトラムアナライザーディスプレイの16kHzが点灯する場合がありますが、これはチューナーのパイロット信号(19kHz)のもれを表示しているだけで故障ではありません。

音質調整について

●重低音域の調整 (32Hz,80Hz)

これらのレベルコントロールを上昇させると、スピーカ一の周波数特性を補正して、低音域の楽器、たとえばダブルベース、バスクラリネット、パイプオルガンなどがどっしりした安定感のある音として再生されます。また、重低音域が響きすぎると感じられるときには、適当と思われるところまで下降させます。

●低音域の調整 (200Hz)

日本の建築様式では、リスニングルームの共振点がこの周波数帯域にあり、プーミーな感じになりやすいものです。したがって、リスニングルームの共振を防ぐためにこの低音域を下降させることが多いようです。

●中低音域の調整 (400Hz)

この中低音域は音楽の基礎となる周波数帯域です。

この音域の音はやせているとか、豊かだと感じられるところ。もの足りない音だと思われるときには、このレベルコントロール・ノブをわずかに上昇させると豊かな感じの音になります。

●中音域の調整 (1kHz,2kHz)

この中音域を調整するレベルコントロールを動かすと、バリトン・ソプラノなど人の声が入っている曲では、歌手の声が前に出たり、奥にひっこむような感じになり、臨場感に大きな影響を与えます。音の奥行と深みに関係する帯域です。

●中高音域の調整 (4kHz)

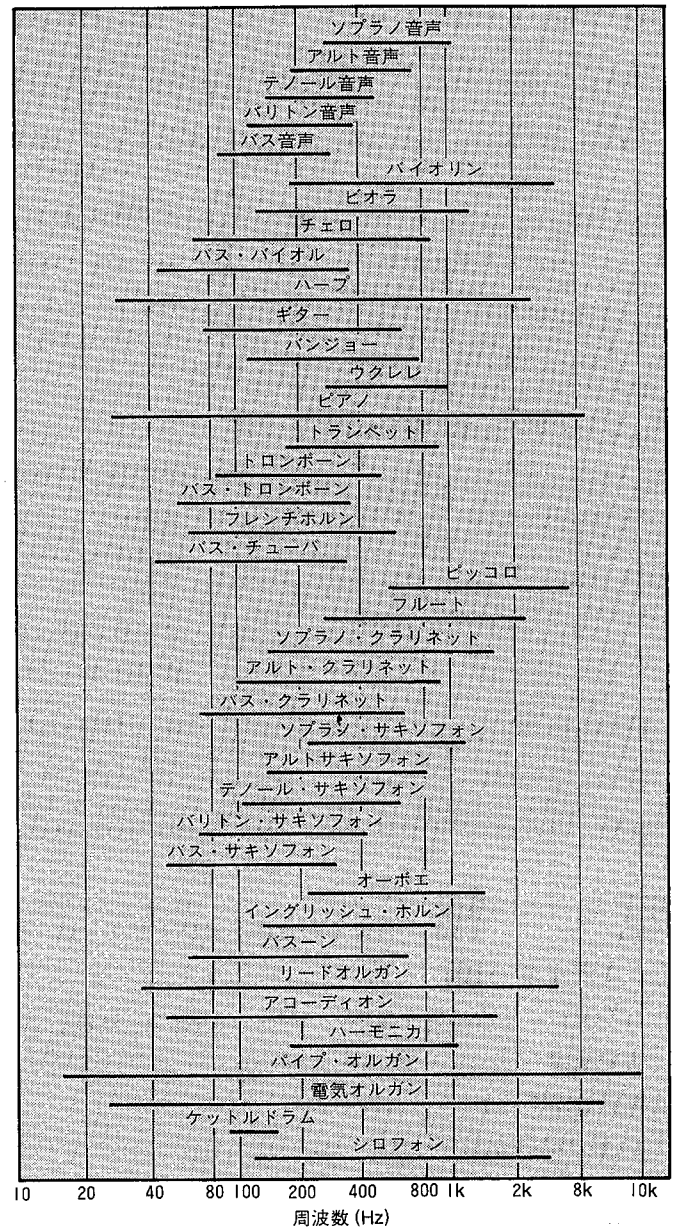
この周波数帯域は、刺激の強い、金属的で硬い音として感じられるところ。うまく調整すれば、爽快さとか明るさがでてきますが、反面うるさい感じになることもあります。

●高音域の調整 (8kHz)

この周波数帯域は、かたい感じとか、やわらかい感じといわれるところ。上昇させると弦楽器（バイオリンなど）や管楽器（フルート、ピッコロなど）が強調され、艶のある音になり、下降させるとおとなしい感じの音になります。

●超高音域の調整 (16kHz)

この周波数帯域は、音の広がりや繊細感に影響を与えるところ。上昇させると超高域の楽器（トライアングル、シンバルなど）が快く響き、音の広がりや繊細感が増します。



声および種々の楽器の基本周波数の範囲 (Olsonによる)

故障と思われる症状ですが……

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせ、一度チェックしてみてください。

症 状	原 因	対 策
電源が入らない。	電源プラグの接続不良。 アンプの連動電源コンセントに電源プラグが接続されている。	電源プラグの接続を調べてみる。 アンプの電源スイッチを入れてみる。
イコライザー効果が現れない。	入力と出力の接続が逆になっている。 アンプまたはレシーバーのTAPEスイッチがテープモニター状態になっていない。	入力、出力の接続を正しくする。 TAPEスイッチを正しくセットします。
イコライザー効果が意図したものでない。	イコライザーレンジセレクター (EQ. RANGE) が±6dBになっている。	イコライザーレンジセレクター (EQ. RANGE) を±12dBにしてみる。
音が出ない。	1. 電源スイッチがOFFで、イコライザー操作キーがOFF状態になっていない。 2. イコライザーA操作キーがTAPEの状態になっている。	1. 電源スイッチをONにする。 イコライザー操作キーをOFFにする。 2. OFFまたはLINEにする。
音がひずむ。	イコライザーA操作キーとイコライザーB操作キーともにLINEになっていて、レベルが+側になっている。	イコライザーレベルコントロールつまみを下げるか、どちらかのイコライザー操作キーをOFFにする。

定 格

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い、予告なく変更になることがあります。

〔イコライザー部〕

コントロール中心周波数……………32Hz, 80Hz, 200Hz, 400Hz, 1kHz, 2kHz, 4kHz, 8kHz, 16kHz(9帯域分割)

可変範囲……………±12dB/±6dB

全高調波ひずみ率

1V出力時(1kHz)……………0.005%

(レベルコントロール平坦時に於いて)

挿入損失

レベルコントロール平坦時……………0dB ±1dB

最大出力電圧

1kHz, THD 0.05%時……………6V

周波数特性

10Hz~100kHz……………+1, -3dB

SN比

IHF A, 1V時……………95dB

入力インピーダンス……………50kΩ

出力インピーダンス……………1.5kΩ

スペクトラムアナライザーレベル(両ch入力, 0ポイント時)……………30mV

〔電源部, その他〕

電源電圧, 電源周波数……………AC100V 50Hz/60Hz

定格消費電力(電気用品取締法に基づく)……………20W

電源コンセント, 最大電力……………電源スイッチ非連動1個/200W

寸法……………W340×H83×D353(mm)

重量……………本体のみ3.6kg



アフターサービスのお問合せは、
購入店または最寄りの当社サービスセンター
営業所をご利用ください。
商品に関するその他のお問合せは、
お客様相談室をご利用ください。
電話(03)486-5515

KENWOOD

トリオ株式会社

東京都渋谷区渋谷2-17-5(シオノギ渋谷ビル)〒150
電話(03)486-5511